

【発行】

自治労渡島地方本部
執行委員長 川村 哲也
〒041-0806
函館市美原 4-6-16
TEL 0138-34-2357
FAX 0138-34-2358



渡島地方本部ニュース



自治労渡島地方本部は、6月15日、北斗市かなでーるで第3回執行委員会、単組・総支部代表者会議、函館大会現地実行委員会、組織集会を開いた。冒頭、川村委員長のあいさつを受け、執行部から春闘中間総括案・消防職員組織拡大対策委員会の設立、当面の闘争方針案を提起した。単組からは、自律的労使関係制度の構築に向けて、地本の指導力強化の要望が出された。引き続き、函館大会現地実行委員会を開き、各単組へ任務分担、動員要請、物産展の出店について説明した。

川村執行委員長あいさつ

「情報提供は今後速やかに行う」、「運動経験の浅い専従者は、道本部としてサポートを行う」、「厳しい財政状況で見直しの運動は停滞させない」と答弁した。

組織集会



樋口渡島地本組織強化委員長あいさつ

組織集会には、道本部より、蒲池財政局長、鎌塚組織部長、高田自治体政策次長が参加し、提起を行った。「都市交の統合についての情報提供不足」、「組織強化にむけた専従者選出のあり方」、「道本部財政の現状について」質疑があり、道本部から、「情報提供は今後速やかに行う」、「運動経験の浅い専従者は、道本部としてサポートを行う」、「厳しい財政状況で見直しの運動は停滞させない」と答弁した。

社福評議会学習会

6月16日、七飯町文化センターで社福評議会学習会を開き、伍楼渡島地方本部副委員長と浅利社福評議会議長があいさつした。社福評・川村事務局長が、



社福評議会川村事務局長

場化が進み労働条件が悪化したと報告した。
また、函館市職労の高井さんが「災害ボランティアに参加して」と題して講演した。映像を交えた講演の中で、必要以上のボランティア活動は避難所の自立性を促さないのではないかと、当時を振り返り報告がした。

緊急時に対応できますか？

救命救急実技講習では、南渡島消防事務組合七飯消防署の隊員の指導の下、人形を使用しての心肺蘇生法とAEDの使い方について講習を受けた。

30回一定のリズムで胸を押し続けるのは、相当の体力を使うこと、AEDの操作の仕方、実演を通じて体験することができた。救急車が到着するまでは、現場にいる自分達の行動が非常に重要であることを実感した。



救急隊員の説明を真剣に聞く参加者



現業アクションプラン作成



A班（学校職場）では、災害時は学校が避難所になるため、日常的に住民に周知を行う。耐震化も早急に行うべきといった案が出された。B班（清掃職場）では、ゴミの分別を徹底するための取り組み提案が出された。C班（清掃職場）では、「函館市のゴミの戸別回収時

職場で話しあってほしい

6月2日、七飯町大山コモンで現業公企評議会学習会を開催した。冒頭、渡部評議会議長のあいさつ、中野渡組織部長が道本部提起を行った。学習会では、「現業アクションプラン」の作成として、日常業務に現業の枠を超えて、住民の声をいかに反映させていくかをテーマに、3班に分かれプランの作成を行った。



プラン作成中！



に住民の安否確認を行う」プランが出された。初めての取り組みであったが、各班それぞれから、多くの意見が出された。各班の発表後、中野渡組織部長からそれぞれのプランについての講評を受けた。

最後に渡部評議会議長が、「日々の仕事を通して住民とどう接していくのか、このことはぜひ、職場の仲間と話し合ってください」とまとめ学習会を終えた。参加者（7単組26人）

プランの報告

100万\$の絆!
浪漫の街・箱館で熱き夢を



自治労第84回定期大会

北海道函館大会
2012年8月30日(木)～31日(金)
函館市民体育館・函館市民会館

(北海道函館大会ポスター)



地本のうごき

- | | | |
|-------|----------------------|----------|
| 6月30日 | 教宣紙学習会 | 北斗市かなでーる |
| 7月7日 | 大森浜清掃 | 函館市 |
| 7月14日 | 第34回全道自治体職員等女子バレーボール | |
| ～15日 | 選手権全道優勝大会 | 帯広・音更町 |
| 7月16日 | 7:16 さようなら原発 10万人集会 | 東京都 |

就労看護職員の
離職防止と
労働条件改善を
求める署名